

保険料の計算例

お問い合わせ先 資格保険料課 ☎043-308-6768

●年金収入が220万円のための単身世帯の場合

均等割額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{年金収入} \\ \hline 220\text{万円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{公的年金等控除額} \\ \hline 110\text{万円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{特別控除額} \\ \hline 15\text{万円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{軽減判定の基準額} \\ \hline 95\text{万円} \\ \hline \end{array}$$

※単身世帯の2割軽減基準額=43万円+54万5千円=97万5千円
 ※軽減判定所得が基準額以下のため2割軽減となります。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{均等割額} \\ \hline 43,800\text{円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{10割-2割} \\ \hline 0.8 \\ \hline \end{array} = \text{① 軽減後の均等割額 } 35,040\text{円}$$

所得割額

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{年金収入} \\ \hline 220\text{万円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{公的年金等控除額} \\ \hline 110\text{万円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{基礎控除} \\ \hline 43\text{万円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{賦課のもととなる所得金額} \\ \hline 67\text{万円} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{賦課のもととなる所得金額} \\ \hline 67\text{万円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{所得割率} \\ \hline 9.11\% \\ \hline \end{array} = \text{② 所得割額 } 61,037\text{円}$$

➡ **年間保険料額 ① + ② = 96,000円**
※100円未満を切り捨てます。

収入ごとの保険料例

●単身世帯（収入は年金のみ）の場合

年金収入	80万円	120万円	160万円	200万円	240万円	280万円
年間保険料額	13,100円	13,100円	19,000円	74,700円	123,000円	159,400円

●後期高齢者夫婦2人世帯（収入は年金のみ）の場合

※年金収入額は、夫の金額です。
 ※妻の収入は、年金80万円以下を想定しています。

年金収入	80万円	120万円	160万円	200万円	240万円	280万円
年間保険料額 (夫)	13,100円	13,100円	19,000円	61,600円	114,200円	159,400円
年間保険料額 (妻)	13,100円	13,100円	13,100円	21,900円	35,000円	43,800円
年間保険料額	26,200円	26,200円	32,100円	83,500円	149,200円	203,200円